

Tutti

岡山県合唱連盟機関紙
トウッティ 第11号

発行責任者 岡山県合唱連盟
事務局長 内田 毅
事務局 岡山市福泊168-7
TEL/FAX (0862) 74-2726

中国コンクールに
期待

県連理事長 近藤 安介



白熱した県コンクール

来る十月三日、四日岡山シンフォニーホールで開催される第三十一回中国合唱コンクールの前哨戦岡山県合唱コンクールは、甲子園球児準々決勝の八月二十三日、中学十三・高校三・大学一・一般五（C部門を含む）の二十三団体を集め、熱い技を競いました。

久しぶりに出場団体も増え、終了が十八時になったこと、それぞれの力量も大幅アップしてきていることなど、岡山の合唱が真に上昇気流に乗ったことを明示しているようで嬉しく、印象深いものでした。

中学部門は昨年より新しく実施されていますが、一年間でこんなにも変わるものかと思わせるほど各校ともにも上達し、その中で、上道中学が二年連続全国大会への出場権および系賞賞を獲得されたことは見事です。十一月一日府中の森芸術劇場での全国大会では、一回り成長した演奏を期待します。

高校・大学では完成度の差が結果にあらわれたようです。玉島高校は、合唱としての良い響きをつかんで

たようですし、音楽の構築もしつかりしたもので、全日本理事長賞を獲得されました。清心グリーは、少人数ながら透明度のある演奏で、音にシャープさがより加わると、中国大会ではおもしろい存在になるかもしれません。

今大会で最も白熱したのは一般Aグループでした。三団ともに一長一短を持ちながら、それも、かなりハイレベルでの競演になりました。惜しくも県大会で敗れた玉野市民女声のてらいのない誠実な好演は深く印象に残りましたし、昨年岡山で行われた全国大会を聴き、発奮して創ったというコール・ゆうぶんげんは、若さに溢れ、声も音楽も新鮮で成長したいでは今後の岡山合唱界のバイロットの存在になってくるような気がしました。

中国大会に向けて

以上、県大会の主たる感想を述べてきましたが、しばらく遠のいていた全国大会への切符も決して夢でなく近づいていると予感します。

代表になった合唱団は、

（音の高さはよいか、音の長さはよいか）

一、いい声で歌っているか

（曲に適合した音色か）

一、詩を把握し、言葉のディクショ

ンはよいか。

指揮者は、ピアニストを含めて

一、デュナーミク

一、アゴーギク

一、全体を構築したうえでの感性の高揚

等など、再点検して中国大会での検討を折ります。

さて、連盟のみなさん。こうして

我らの代表はベストを尽くしてくれ

ると信じます。昨年の全国大会を本県がひき受け、その素晴らしい運営に、全国の合唱人から称賛の拍手を頂戴したのは、まだ記憶に新しいところですが、その成功は、連盟千八百人。協力があって達成されました。この度のコンクールでも大成功に導こうではありませんか。出演する仲間が十二分に発揮できるように、私たちが立派に運営したく思います。入場券の販売、当日の進行、会場整理など、連盟会員一人ひとりの協力を心からお願いたします。

第九歌う会 発団式

八月二十九日（日）午後六時より、岡山市立市民文化ホールに於いて、今年九回目を迎える第九歌う会の発団式が行われた。

近藤安介会長の挨拶、ソリスト役員の紹介などの後、全員合唱で成功を誓い合った。

オーディションに合格した六十余名の新団員を含め、今年には二百九十九名でスタートを切った。

岡山第九では初めての外国人指揮者、ウリ・セガル（イスラエル出身）を迎えます。

九月二十六日（土）から、十二月

十六日（水）のシンフォニーホールでの本番に向けて本格練習が始まります。

（H）



全日本おかあさんコーラス
全国大会出場の記事

「人生に彩りを
ありがとうございます」

いずみ町の児童館で歌の好きな女性が集まり、美しいハーモニイを公園一杯に奏で始めて二十七年。創立時より柴田公平先生の御指導のもと、「花は色 人は心」「継続は力なり」をモットーに少しずつ努力してまいりました。

この度、四年前の札幌大会に続き二回目の全国大会出場を経験をさせていただきました。

八月九日、全日本おかあさんコーラス東京大会が、池袋の東京芸術劇場で開催され、各地の支部大会で選ばれた四十団体、約千五百人が出演いたしました。いずみの森合唱団は「小さな手」と「落葉松」の二曲を歌い、落ち着いて精一杯張りましました。しかし、レベルの高い演奏ばかりで、まだまだ力不足を痛感させられました。東京の大会で団員全員揃って最高の劇場で心を込めて歌い終えた爽快感は、何にも勝る充実した気持ちです。おかげさまで人生に彩りを添えることが出来ました。

これからも一歩一歩ゆっくり勉強し直し、またチャンスがあればチャレンジしてみたいと団員一同熱く燃えております。

最後になりましたが、いろいろお力添えいただきました関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

いずみの森合唱団
代表 梶谷 坦子

おかあさんコーラス
全国大会を振り返り

日下部 吉彦

音楽優先の姿勢忘れず
楽しい舞台作りを工夫

「おかあさんの甲子園」ともいわれる第十五回「全日本おかあさんコーラス全国大会」(全日本合唱連盟・朝日新聞社共催)が九日、東京・池袋の東京芸術劇場で開催された。全国五百八十六団体から選ばれた四十団体がのどを競い、うち十四団体に最高賞のグランプリが贈られた。

この大会が、日本の合唱界にインパクトを与えてきたことの一つに、パフォーマンスがある。合唱はただ歌うものという、従来概念を破り、お母さんたちは、歌い、かつ踊り、衣装を変え、演技さえした。これらのことが、コンクールではない「お祭り」の意識と結びついて、見ても楽しい舞台を作ってきた。

ただ、この傾向がやや暴走気味となり、派手な演出や音楽不在のパフォーマンスが流行する現象もなくはなかったが、ここ数年、沈黙化の方向にある。今回の各団の演奏を見ると、必要最小限な演出の中にキラリと光るものを感じさせ、音楽優先の姿勢がはっきりしてきた。

グランプリを獲得した「女声合唱団四季」(埼玉)は、この傾向をさらに徹底させた。高田二郎の宗教作品で、本質に迫る訴えをした。このほか、ひまわり賞の「コール・クラウンツ札幌」(「コロロ・エミナリス」(愛知)などもこの路線にある。

一方、適度な振り付けや、アイディアをこらした、楽しい演奏も、お母

さんコーラスならではもので、この路線を放棄してもらいたくない。むしろ、ますます洗練の度を加えてほしい。この路線でひまわり賞に輝いたのは、「陽声たまゆら会」(奈良)、「女声合唱団MAY」(大阪)、「まつえコールブルー」(鳥根)、「栗東カレンデュラ」(滋賀)など。

借しくもひまわり賞には人らなかつたが、「ボカ・グランデ」(神奈川県)、「アンサンブル・ロジエ」(東京)の楽しさが印象に残った。(音楽評論家)

△8月18日 朝日新聞掲載
原文のまま▽



「森の歌」を歌おう

平成五年二月二十日(祝)、第七回倉敷音楽祭の初日を飾って、倉敷市民会館大ホールで、シヨスタク・ヴィイチ作曲のオラトリオ「森の歌」を二百人の大合唱で高らかに歌い上げる事になりました。

管弦楽は倉敷管弦楽団、独唱にテノール日高好一、バス大原正義の両氏を迎えます。

この音楽祭は全国に向けて華やかに公演します。今からでも間に合いますから、合唱を愛する皆様の参加を心よりお待ち致します。

九月十三日(日)にオーディションと発団式を予定しています。詳しくは、(財)倉敷文化財団・倉敷音楽祭係(電話086412613300、3410505)迄。

(H)



第15回 全日本おかあさんコーラス全国大会
いずみの森合唱団
代表 梶谷 坦子

中国合唱コンクールに向けて
裏方万達へのエール

進行部 井内 修

コンクールの県大会も終わり、中国大会の日が近づいて来た。十月三日、四日にシンフォニーホールで行なわれる大会に向けて、裏方である実行委員会の準備が進んでいる。昨年開催された全国大会のあわただしさが、もうすぐやってこようとしている。ライトを浴びたステージを支えるため、何十人もの人たちが働いている。会場係、誘導係、案内係、リハーサル係、審査係、接待係。朝早くから、夜まで、それぞれの持ち場で、馴れない仕事に頑張っている。うまく行って当たり前、ミスは許されないぶっつけ本番の裏方仕事だ。緊張の連続で、一日が終わるとぐったりしてしまう。

私は長年、合唱連盟の行事の裏方を手伝って来ましたが、時には「どうしてこんなしんどいことをしているんだらう」と思うこともあり、でも、結局は裏方の仕事が好きなんだという結論に達してしまうのです。私には、裏方という言葉で思い出される一人の演出家の先生がおります。十周年記念演奏会として、オペラに取り組むことになりました。大道具や衣装も揃えた本格的なオペラでした。オペラは初めての団員がほとんどでしたが、近藤先生と演出の先生の厳しい指導のもとで一年間、今では考えられない位の出席率で練習が続けられました。

そのおかげで演奏会は大成功。立ち見の出た市民会館一杯のお客様の大拍手の中で幕を閉じました。

興奮のさめやらぬ中で閉幕した。メイクを落とし、衣装を着替え、打ち上げパーティーの会場に向かいました。

その頃ステージでは、たった一回の公演のために作られた大道具が、裏方の人たちの手で片づけられていました。

そのステージの片隅で、演出の先生は片づけられていく大道具をじつと見ておられました。その時の先生の後姿と、打ち上げパーティーで出酒者全員が感激の涙を流したことは、今でも昨日の事のように思い出されます。

一生懸命にやった大きな行事が終わったあとは、「ああ、やっと終わった。」という気持ちと、「終わったしまったんだ。」という気持ち。いつも交錯します。この気持ちこそが、裏方の喜びかもしれないと今は思っています。

今年の中国大会にもたくさん合唱団が県の代表として出場します。精一杯頑張ってください。そして、コンクールに出ない連盟員の方々も、お手伝いをするなり、演奏を聴きに來るなり、何らかの形でコンクールに関わってください。

一人でも多くの方がお手伝い下さる事を願っています。

そして、裏方の苦労と喜びを少し感じていただければ幸いです。

裏方万達へのエール！



去る8月23日(日)第45回岡山県合唱コンクールが開催されました。

その成績は次の通りであります。

中学校の部 同声Aグループ

- 倉敷市立琴浦中学校 (銀賞)
- 勝北町立勝北中学校 (銀賞)
- 岡山市立操山中学校合唱部 (銅賞)
- 岡山市立操南中学校 (金賞)
- 矢掛町立矢掛中学校 (銅賞)
- 総社市外二箇村中学校組合立総社西中学校 (金賞)

中学校の部 同声Bグループ

- 高梁市立高梁中学校 (金賞)
- 倉敷市立味野中学校 (銅賞)
- 中学校の部 混声Aグループ
- 岡山市立足守中学校 (銅賞)
- 中学校の部 混声Bグループ
- 岡山市立興除中学校 (銅賞)
- 岡山市立上道中学校 (金賞・最優秀賞・糸賀賞・全国大会推薦)
- 総社市外二箇村中学校組合立総社東中学校 (銀賞)

中学校の部 学級

- 建部町立建部中学校3年生 (失格)

高校の部 Bグループ

- 岡山県立倉敷中央高等学校合唱部 (金賞・中国推薦)
- 岡山県立玉島高等学校合唱部 (最優秀金賞・全日本理事長賞・中国推薦)
- 山陽女子高等学校コーラス部 (銀賞・中国推薦)

大学の部

- ノートルダム清心女子大学グリーンクラブ (金賞・中国推薦)
- 岡山大学グリーンクラブ (最優秀金賞・中国推薦)

一般の部 Aグループ

- コール・ココ (最優秀金賞・中国推薦)
- 玉野市民女声合唱団 (銀賞)
- コール・ゆうぶんげん (銀賞・中国推薦)

一般の部 Bグループ

- 岡山混声合唱団 (銀賞・中国推薦)

C部門

- 総社東中学校OB合唱団 (銀賞)

コ ン サ ー ト 情 報

◇岡山市民合唱団 鷺羽 第20回定期演奏会

と き : 平成4年10月18日(日) 午後2時開演
 と ころ : 岡山シンフォニーホール
 ち け っ と : 1,500円
 演 奏 曲 : マルクスの「ミサ」
 「白い木馬」
 「方舟」
 こ め ん と : 入場者数に限りがあります。チケットはお早めにお求め下さい。

◇岡山合唱団 第26回定期演奏会

と き : 平成4年10月25日(日) 午後2時開演
 と ころ : 岡山シンフォニーホール
 ち け っ と : (前売り) 一般1,500円、大学生1,000円
 中高生800円
 当日は各200円アップ
 テ ー マ : 「人間讃歌・美しい自然の讃歌」
 こ め ん と : 特別ゲストに 中 澤 柱 さんをお迎えします。

◇倉敷少年少女合唱団 第20回定期演奏会

と き : 平成4年11月1日(日) 午後2時開演
 と ころ : 倉敷市民会館
 ち け っ と : 未定
 演 奏 曲 : (ジュニア) ミュージカル「ケンちゃんとお化け」
 (シニア) ベルゴレージ作曲「スターバト・マーテル」
 伴 奏 : 倉敷管弦楽団
 こ め ん と : 10月25日 第7回国民文化祭(石川県)にシニアが参加します。

◇岡山混声合唱団 第46回定期演奏会

と き : 平成4年11月2日(火) 午後2時開演
 と ころ : 岡山市立市民文化ホール
 ち け っ と : 未定
 演 奏 曲 : 「愛唱歌集」「日本の四季の歌」「美しきエレン」
 ヴィヴァルディ作曲「グロリア」

◇倉敷コーラル・クラ イネ 第12回定期演奏会

と き : 平成4年11月23日(月) 午後2時開演
 と ころ : 倉敷市民会館
 ち け っ と : 800円
 演 奏 曲 : 1) メンデルスゾーン作曲「Veni Domine」
 2) 女声合唱のためのクラシカルリリックスから
 「気まぐれなエッセイ」
 3) 西村 朗作曲「秘密の花」
 こ め ん と : 1) は客演指揮 八 尋 和 美 です。

◇就実女子大学・短期大学グリークラブ 第24回定期演奏会

と き : 平成4年11月24日(日) 午後6時半開演予定
 と ころ : 岡山市立市民文化ホール
 ち け っ と : 前売り 400円 当日売り 500円
 演 奏 曲 : 三善 晃作曲「光のとおりみち」
 みつはし ちかこ作詩「ポケットの星」
 企画ステージ「福井地方のわらべうた」
 こ め ん と : 今年も楽しいステージにするために、みんな頑張っています。
 企画ステージでは童心にかえった私たちを見て下さいね。